

岩場に瀬渡し中、船尾方から大波を受け転覆、1人死亡、6人負傷

概要：本船は、船長(86歳)及び補助者の2人が乗り組み、釣り客9人を乗せ出航し、途中4人をA島の岩場に渡した。その後、A島の西方にあるB島に着けようとしたとき、船尾方から大波を受け、船首部が岩場に乗り、引き波とともに船体が右舷側に傾き、船首部が岩場から離れそうになったとき、第2波を受けて海水が船内に打ち込み、さらに船体が右舷側に傾いて転覆した。

本船(瀬渡船)

総トン数：4.94トン

Lr×B×D：10.14m×2.64m×0.83m

天気曇り、風力3の北東風、海水温度約15.3℃
視界良好、海上強風警報、波浪注意報発令中

救命胴衣は、船長、補助者、釣り客全員が着用

船長は、当日の朝、テレビの全国の天気予報を見たが、**地元の天気予報は確認せず、携帯電話等による気象及び海象情報も入手しなかった**

船長は、補助者から、漁港の沖合の波の高さが約2~2.5mで強い風を感じなかったことを聞いて出航することを決めた**(海上警報発令中は、出航中止となっていた)**

6時35分ごろ 本船は、定係港の南方約600mにあるA島に向け出航した

6時39分ごろ 本船は、風波の影響のため3~4回着け直しを行い、A島の東側の岩場に4人を渡した

6時41分ごろ 本船は、A島から西約820mにあるB島に向かった

6時46分ごろ 本船は、釣り客を渡す前に波の状況を確認するためB島の5~6m付近に船を近づけたとき、船長及び補助者が**海面から約5mの高さにある島の頂上に波しぶきがかかっているのを見て、岩場に着けるのをやめ、船長が船尾方を確認したとき、船尾方から大波を受け本件岩場に向け流され、船首部が岩場に乗り、引き波とともに船体が右舷側に傾いた**



発生場所付近

6時48分ごろ 本船は、船首部が岩場から離れそうになったとき、第2波を受けて船内に海水が打ち込み、さらに船体が右舷側に傾き転覆した。

釣り客及び補助者は落水後、それぞれ破損した本船の浮遊物などにつかまり、海岸に流れ着いたり、海上を漂流しているところを救助された

釣り客5人及び補助者は負傷、船長が死亡し、船体は岩場に当たり大破した

再発防止に向けて(事故防止策)

- ・船長及び事業者は、**業務規程の出航中止基準を遵守**すること。
- ・船長及び事業者は、**最新の気象及び海象情報を入手して出航に関する適切な判断**を行うこと。
- ・釣り客は、落水時を想定し、**保温効果のある服及び救命胴衣を身体から抜けないうちに着用**すること。
- ・携帯電話は、**十分な充電を行い、防水パックに入れ携帯しておく**こと。
- ・水深が浅い場所では**波高が急激に増大することがある**ので、沖から進入する**波浪状況に注意**すること。

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。(平成23(2011)年11月25日公表)

http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2011/MA2011-11-7_2011tk0005.pdf